



サイバーセキュリティの置き薬

2020年
第14号

公衆無線LANの対策は大丈夫？

公衆無線 LAN (Wi-Fi) は、利用者にとって利便性があるサービスですが、通信が暗号化されていないと、悪意のある者により、ID やパスワード等が盗み取られて悪用される危険性があります。

提供者の皆さまへ

- 強固な暗号通信の採用と適切な設定をする
WEP < WPA / WPA2 / WPA3 >
- ×低い セキュリティ強度 高い○
- Wi-Fi に接続している端末同士の通信をできないように設定する
 - 不正利用防止のため、以下①～③のいずれかの認証方式を採用する



① SMS連携方式

- ・利用時に電話番号を入力
- ・利用コードがSMS送信される
- ・利用コードを入力して利用可

② SNSアカウント認証方式

- ・利用時にSNSサービスにログインして利用可能となる

③ 利用確認を含めたメール認証方式

- ・利用時にメールアドレスを登録
- ・返信される利用コードの入力や認証URL等で利用可能となる



利用者の皆さまへ



- 知らないアクセスポイントには接続しない
自動接続された場合、意図した接続であるかを確認する
 - 大事な情報は SSL でやりとりをする **https://...**
- ※ SSL とは個人情報やクレジットカード情報等を暗号化して安全に送受信する技術のこと
SSL (通信の暗号化技術) 利用時には、ホームページ閲覧ブラウザに鍵マーク等が表示されます)



総務省のサイトも参考にして下さい

【参考サイト】

総務省 「国民のための情報セキュリティサイト」

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/wi-fi.html

